

名古屋大学

国語国文学

97

2005年12月

歌に示された聖武朝史

—— 卷六・一〇二九～四三の配列をめぐって —— ……新沢 典子 (1)

季英の弁の、娘に琴教へ給ふこと

—— 『うつほ物語』 藤英論 —— ……本宮 洋幸 (13)

源為憲『太上法皇御受戒記』について ……井上和歌子 (29)

〈根合〉の男君

—— 『堤中納言物語』 「逢坂越えぬ権中納言」 試論 —— ……亀田 夕佳 (43)

稲葉通邦の真福寺本古事記研究と本居宣長 ……尾崎 知光 (59)

室町末期における疑問助詞カの性格 ……八幡 章雄 (82)

上田万年「P音考」の学史上の評価について ……内田 智子 (98)

書評 神話への挑戦

—— 米村みゆき『宮沢賢治を創った男たち』 —— ……飯田 祐子 (99)

深津陸夫著『中世勅撰和歌集史の構想』 ……安田 徳子 (107)

新刊紹介 櫻井豪人編著『類聚紅毛語訳・改正増補蛮語箋・英語箋』 ……齋藤 文俊 (111)

坪井秀人著『戦争の記憶をさかのぼる』 ……広瀬 正浩 (112)

名古屋大学

国語国文学会

編集後記

会誌九十七号をお届けします。

このたび、文学研究科の組織変更により、十月一日より助手の業務内容が変わることとなりました。この職掌変更に伴い、会誌編集を含む学会諸事務は、井元町子さんにご担当いただくこととなりました。

平成七年四月から同十一年四月までは臨時職員として、同年五月以降は助手として、第七十六号（山下宏明教授退官記念号）から本号まで、計二十二冊の編集を担当させていただきました。不備な点多々あったことと思いますが、無事発刊できましたのも、会員みなさまのご支援とご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。

（榎原）

名古屋大学国語国文学 第九十七号

印刷 平成十七年十二月十日

発行 平成十七年十二月十日

編集 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部内

名古屋大学国語国文学会

(代表) 高橋 亨

〈振替00860-0-19333〉

☎(〇五二)七八九-二三四三

内線二二四二

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(有) イシグロ高速印刷

☎(〇五三二)五四-一四九六